

報道発表資料の配付日時 9月10日(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	「令和元年 環境の状況等に関する年次報告」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道環境基本条例第8条に基づき、平成30年度の北海道における環境の状況や施策の内容等を「環境の状況等に関する年次報告」として取りまとめ、本日開催の北海道議会第3回定例会において報告しましたので、お知らせします。</p> <p>○配付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「令和元年 環境の状況等に関する年次報告」の概要 ・令和元年 環境の状況等に関する年次報告 		
参考	本報告書をもとに作成した「北海道環境白書'19」を12月頃に道のホームページにて公表する予定です。		
報道(取材)に当たってのお願い	本道の環境の状況や環境に関する施策の取組状況を記載していますので、参考にして下さい。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	(場所)	
担当 (連絡先)	環境生活部環境局環境政策課環境企画グループ 主幹 木内 武雄 TEL 011-231-4111 (内線24-205) 直通 011-204-5188		

「令和元年 環境の状況等に関する年次報告」の概要

1 報告の趣旨

- ◆北海道環境基本条例第8条に基づき、本道における環境の状況や講じた施策の内容等を年次報告として取りまとめ、毎年、議会に報告するもの。

2 構成

- ◆「序章・環境トピックス」と平成30年度における「環境の状況及び取組実績(6つの章)」で構成。
- ◆北海道環境基本計画〔第2次計画〕(平成28年(2016年)3月改定)の施策の体系に沿って作成。

序章・環境トピックス (平成30年度に重点的に取り組んだ事業等を記載)

第1章 地域から取り組む地球環境の保全

第2章 北海道らしい循環型社会の形成

第3章 自然との共生を基本とした環境の保全と創造

第4章 安全・安心な地域環境の確保

第5章 各分野に共通する施策の展開

第6章 地域における主な環境保全の取組

3 各章の内容

序章・環境トピックス

[主な取組]

■北海道胆振東部地震の対応

- ・周辺自治体に災害廃棄物の受け入れ等の支援を要請し、広域処理を実施。
- ・地震発生から約4ヶ月で、家庭からの災害廃棄物の処理は概ね終了。



大量の災害廃棄物

■気候変動適応に関する国内外の動きと道の取組

- ・「適応」の取組の基本的な考え方を示す「北海道における気候変動の影響への適応方針」を策定。



分別された災害廃棄物置き場

■野生動物との軋轢

- ・全道各地で多発するヒグマの出没を踏まえ、遭遇回避のための普及啓発の実施、「ヒグマ出没時の対応方針」の策定。
- ・増えすぎたエゾシカの捕獲と有効活用を推進。



利尻島に上陸したヒグマ

■北海道命名150年及び環境道民会議設立20周年記念桜植樹事業

- ・クラウドファンディングを活用し、150本のエゾヤマザクラを植樹

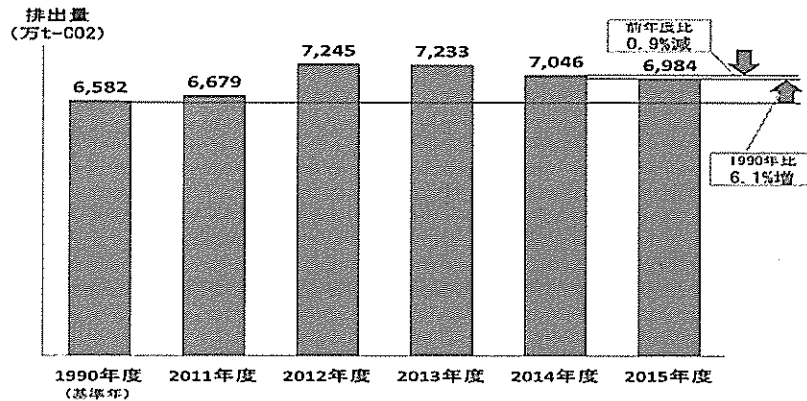
[主な状況]

■道内の温室効果ガス排出量と道民1人当たりの排出量（平成27年度（2015年度））

・道内の温室効果ガス排出量は、6,984万t-CO₂、基準年度比で6.1%増（前年度比0.9%減）

※ 目標（2020年度）は、基準年度比で7.0%削減 ※最新値（2016年度）は集計中

・道民一人当たりの温室効果ガス排出量は、13.0t-CO₂（全国平均10.4t-CO₂）



[主な取組]

■地球温暖化対策の推進に向けた道の取組

- ・「北海道における気候変動の影響への適応方針」を策定し、関連施策を推進。
- ・「適応」に関するパンフレットの作成、道内2カ所でのセミナー開催。

■低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換

- ・「北海道クール・アースデイ（7月7日）」における集中的な取組の実施。
- ・「エコアンドセーフティードライブ^(※)」などの普及啓発事業の実施。

(※) エコドライブと交通安全を合わせた取組

■地域の特性を活かした環境にやさしいエネルギーの導入等

- ・エネルギー地産地消のモデル事業や新エネ設備の設計・導入への支援。
- ・「北海道水素イノベーション推進協議会」や「道央圏FCV普及促進戦略会議」の開催。
- ・FCVや家庭用燃料電池の展示などによる普及啓発事業の実施。

■二酸化炭素吸収源としての森林の整備・保全等の推進

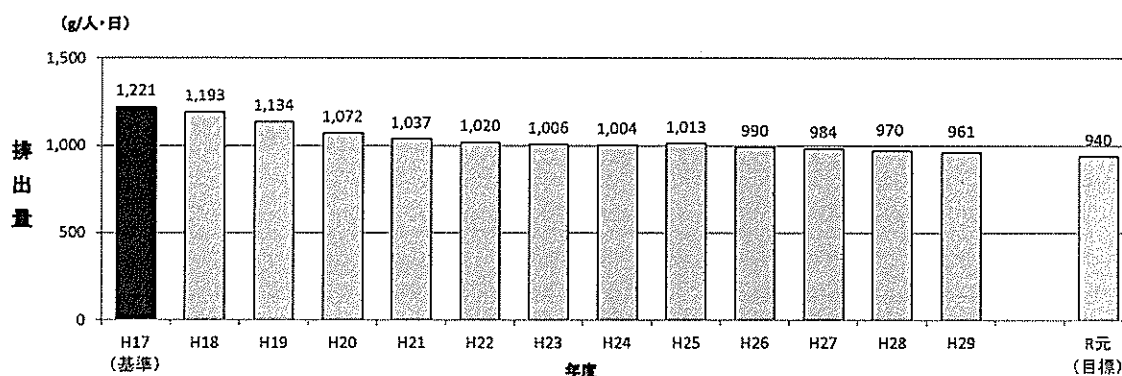
- ・CO₂の削減と森林保全活動に貢献するため、企業との協同キャンペーン^(※)を実施。

(※) 北海道命名150周年記念「北海道の森に海に乾杯！」

[主な状況]

■ごみの排出量

・道民1人1日当たり排出量は減少傾向、目標(R元年度)940g/人・日に対し、961g/人・日(H29)



[主な取組]

スリーアール

■ 3 R の推進

- ・市町村と連携した3R^(※1)キャンペーンの実施
- ・北海道ゼロ・エミ大賞^(※2)の表彰。

(※1) 3R (Reduce (発生抑制)、Reuse (再使用)、Recycle (再生利用))

(※2) 廃棄物の発生・排出抑制等の取組を行っている模範的な事業者の表彰制度

■ 廃棄物の適正処理の推進

- ・PCB廃棄物等の実態把握調査や電気機器のPCB分析に対する補助事業の実施。
- ・不法投棄等の防止に向けたスカイパトロールや廃棄物運搬車両の路上検問、通報フリーダイヤル「産廃110番」等による早期発見・早期対応。

■ バイオマスの利活用の推進

- ・バイオマスアドバイザーの派遣によるセミナーや勉強会の開催。
- ・「北海道バイオマスネットワーク会議」におけるメールマガジンの発行やセミナーの開催などによる先進的な利活用情報の発信。

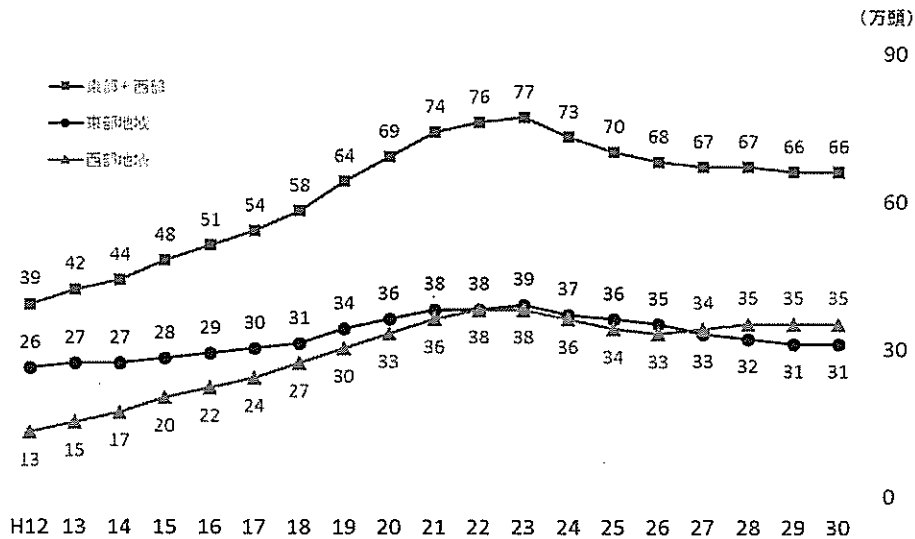
■ 循環型社会ビジネスの振興

- ・産業廃棄物の排出抑制・減量化やリサイクルのための設備整備や研究開発への補助、中小企業等へのリサイクルアドバイザーの派遣等。
- ・道認定のリサイクル製品及びリサイクルブランド製品の普及啓発等。

[主な状況]

■全道におけるエゾシカの推定生息数など

- ・捕獲数（平成30年度（2018年度））は、約10万8千頭（速報値）
- ・生息数は約66万頭（平成30年度）と推定。



[主な取組]

■自然環境等の保全及び快適な環境の創造

- ・「未来へつなぐ！北国いきもの守りたい賞^(※)」として4団体を表彰。
- （※）道内で生物多様性の保全等に関し優れた活動を行った者に対する表彰制度
- ・「生物多様性保全フォーラム」の開催。

■知床世界自然遺産の厳格な保全と適正な利用

- ・「世界自然遺産・知床の日」（1月30日）における道民向け講座「しれとこ大百科」の開催。

■自然とのふれあいの推進

- ・国の「国立公園満喫プロジェクト」に選定された「阿寒摩周国立公園」における、訪日外国人観光客受入れ環境の整備。
- ・動物愛護週間における、動物の適正な飼養に関する普及啓発の実施。

■野生生物の保護管理

- ・アライグマなど外来種の防除、国内外来種であるアズマヒキガエルを目撃情報マップや防除事例のホームページでの公表。
- ・エゾシカ捕獲事業の展開及びエゾシカ肉処理施設認証制度による安全・安心なエゾシカ肉の提供、販路拡大、地域ブランド化の推進。

安全・安心な地域環境の確保（第4章）

[主な状況]

■大気環境基準達成状況（H29年度（2017年度））（達成率：100%）

区 分	測定局数	環境基準を達成した測定局数	達成率（%）
窒素酸化物（NOx）	74	74	100
浮遊粒子状物質（SPM）	64	64	100
硫黄酸化物（SO ₂ ）	59	59	100
計	197	197	100

■公共用水域環境基準達成状況（H29年度（2017年度））（達成率：92.0%）

区 分	類型指定水域数	環境基準を達成した水域数	達成率（%）
河 川（BOD）	186	182	97.8
湖 沼（COD）	11	6	54.5
海 域（COD）	65	53	81.5
計	262	241	92.0

[主な取組]

■大気・水環境の保全

- ・立入検査による工場等への監視・指導。
- ・PM2.5に係る測定データ等の公開による道民への注意喚起。

各分野に共通する施策の展開（第5章）

[主な取組]

■環境に配慮する人づくりの推進

- ・「北海道地域環境学習講座『eco-アカデミア』^(※)」など、各種啓発事業の実施。
- （※）環境学習講座への講師の派遣事業
- ・環境道民会議の20周年記念セミナー「SDGsフォーラム」の開催。

■環境と経済の好循環の創出

- ・環境保全に貢献している事業所等を認定する「北海道グリーン・ビズ認定制度」の普及を推進。
- ・「北海道グリーン購入基本方針」に基づく環境物品等の積極的な調達。

地域における主な環境保全の取組（第6章）

- ・各（総合）振興局における地球温暖化防止など各種普及啓発等。